



2022年度第3四半期 累計決算

財務ベース売上収益の成長

+13.9%

Core売上収益の成長（CERベース）

+4.5%

財務ベース営業利益の増減率

-13.1%

2021年度第1四半期の日本における糖尿病治療剤
ポートフォリオ売却による一過性収益の影響

Core営業利益の成長（CERベース）

+9.7%

Core営業利益率

31.1%

財務ベースEPSの成長

+19.6%

Core EPSの成長 (CERベース)

+17.1%

フリー・キャッシュ・フロー

5,852億円

純有利子負債 / 調整後EBITDA

2.5倍

に改善

ニューロサイエンス
(神経精神疾患)

消化器系疾患

5つの主要
ビジネス
エリア

血漿分画製剤 (免疫疾患)

オンコロジー
(がん)

希少疾患



消化器系疾患

8,575億円 +11%

(28%対売上収益比)



希少疾患

5,536億円 +5%

(18%対売上収益比)



血漿分画製剤 (免疫疾患)

5,024億円 +18%

(16%対売上収益比)



オンコロジー (がん)

3,450億円 -13%

(11%対売上収益比)



ニューロサイエンス (神経精神疾患)

4,771億円 +10%

(16%対売上収益比)

全ての成長率は第3四半期累計CERベースの対前年比

充実した**成長製品・新製品**の ポートフォリオが成長を加速

売上収益全体に占める割合

39%

CERベースの成長

+20%

2022年度 業績予想

売上収益

3.93兆円

Core営業利益

1.18兆円

Core EPS

525円

マネジメントガイダンス（CERベース）

Core売上収益

1桁台前半の成長率

Core営業利益

1桁台後半の成長率

Core EPS

1桁台後半の成長率

1株当たりの年間配当金

180円

確立された配当方針を維持

第3四半期の業績は、成長製品・新製品が再び力強い売上収益の成長を牽引し、継続して成長の勢いを示しています。欧州及び中国において承認を取得するなど、パイプラインを前進させています。堅牢な財務体質により、成長への投資を進めながら、レバレッジの低下も進めることができます。

コスタ・サルウコス

チーフ フィナンシャル オフィサー



本お知らせには、当社の将来の事業、将来のポジションおよび業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。当社の2022年度第3四半期決算の投資家向けプレゼンテーション (www.takeda.com/jp/investors/financial-results) をご参照ください。ここに記載されている情報は、開発品を含むいかなる医療用医薬品を勧誘、宣伝又は広告するものではありません。

CER (Constant Exchange Rate : 恒常為替レート) ベースの増減は、当期の財務ベースの業績もしくはCore業績を前年同期に適用した為替レートを用いて換算することにより、前年同期との比較において為替影響を控除するものです。

Core売上収益、Core営業利益、Core営業利益率、CoreEPS、CERベースの増減、純有利子負債、調整後EBITDAおよびフリー・キャッシュ・フローは、会計基準 (IFRS) に準拠しない財務指標です。投資家の皆様におかれましては、IFRSに準拠しない財務指標につき、当社の2022年度第3四半期決算の投資家向けプレゼンテーション (www.takeda.com/jp/investors/financial-results) の末尾にあるAppendixを参照の上、これらに最も良く対応するIFRS準拠財務指標との照合を行っていただけますようお願い申し上げます。

